

6

2015
JUNE

KUMAMOTO NISHI Y'S MEN'S CLUB

熊本にしワイズメンズクラブ

2015年6月3日発行 No.74

CHARTERED 2009



国際会長主題
アジア会長主題
西日本区理事主題
九州部部長主題

"Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
 "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 "To walk together, echoing each other" 「響き合い、ともに歩む」
 "Y's spirit, from you to me and from me to you generations!"
 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」

IP Isaac Palathinkal(India)
 岡野泰和（大阪土佐堀）
 松本武彦（大阪西）
 亀浦正行（熊本にし）

熊本にしクラブ会長主題 “Let's enjoy Y's Life” ~ にして築く ワイズの力 ~ 第6代会長 中西 賢一

2015年6月引継ぎ例会 プログラム

日時：2015年6月3日（水） 19:00～21:30
 場所：ANAクラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ
 司会：宮田 茂ワイズ

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 中西会長 |
| 2. ワイズソング「いざたて」 | 全員 |
| 3. 会長挨拶：エバーライフ歓迎も込めて | 中西会長 |
| 4. ネット会長挨拶 | 水元ネット会長 |
| 5. 九州部部長挨拶 | 亀浦部長 |
| 6. 九州部ネット事業主挨拶 | 亀浦ネット |
| 7. エバーライフ会長挨拶 | 林 東村会長 |
| 8. クラブ復帰挨拶 | メンバー全員壇上で、一言ご挨拶 |
| 9. ゲスト・ビジター紹介 | 佐藤メン |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 食前感謝 | 西原メン |
| 12. 乾杯 | 木本副会長 |
| 13. 「一年を振り返って」 | 中西会長 |
| 14. 会長・役員引き継ぎ式 立会進行 | 水元初代会長 |
| 新役員紹介 | 木本次期会長 |
| ナイスサプライズ | |
| 15. ハッピーバースデイ＆アニバーサリー | |
| 16. なごりはつきねど | 全員 |
| 17. 閉会宣言・点鐘 | 中西会長 |

【ハッピーバースデー】

6月：4日西原ネット 28日 木本メン 亀井オメット

【アニバーサリー】

6月：2日：松野孝信・真由美

14日：大西一史・裕美

17日：水元裕二・留美

2次会は、最上階の25階で行います。

いざ立て

1. いざ立て心あつく 手を挙げ誓いあらたに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン
絶えせずあて望み この身を捧げ尽くさん
2. 歌えば心ひとつに ともがきひろがりゆきて
遠さも近きも皆 捧げて立つやワイズメン
栄えと誉れ豊か まことは胸にあふれん

なごりはつきねど

なごりはつきねど つどいははてぬ
今日ひとひのさち 静かに思う

今月の聖句

加藤 泰文

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」（コリントの信徒への手紙二 4章18節）

私たちが生きようとするとき、大事なポイントがあることを教えてくれます。見えるものではなく、見えないものにこそ目を注ぐのだというのです。それは、見えないものが永遠に続くものであるからだというのです。わたしたち人間を「見えるもの」、そして人間を超えた存在を「見えないもの」と捉えるのが一般的な読み方かもしれません。しかし、少し広げて考えてみると、私たちが日ごろ気づかないいろいろな事柄のことであつても「見えないもの」と呼べるかもしれません。

私たちはいろいろな事柄を見ていると思っています。知っていると思っています。分かっていると思っています。しかし、本当のところ、わたしたちは何を見て、何を知り、どんなふうに分かっているのでしょうか。そう問い合わせられてみると、様々なことを見ていない自分、いろいろなことを知らない自分、何もわかっていない自分がいます。おそらく神という存在のことも同じです。わたしたちはその存在について知らないでいるのです。

見ていない、知らない、わかっていない。だからこそ、自身を受け入れ、いろいろなことを考えたり経験を重ねながら、人生を切り拓いていかなければならないと思います。



5月例会出席状況

在籍会員数	29名	例会出席率	37.0%
広義会員数	2名	マイキヤップ	なし
例会出席数	17名	ネット	5名
第1例会	10名	コメット	0名
第2例会	8名	ゲスト・ビジター	2名

会長通信

にしワイズメンズクラブの皆様、日頃よりワイズ活動へのご支援・ご協力誠に感謝しています。ありがとうございます。いよいよ今期最後のプリテンとなりました、7月のキックオフから緊張しての会長職もここで終わりというのは長かったようで早く、やっと少し慣れてきたところでもありました。今まで会長をされた方がよく言われた言葉が「あつという間に一年終わる」と、言う事でしたが、まさにそのとおりでの一年でした。2015年度にしクラブの会員は数名の退会はありましたが、4名の入会があり にしクラブとしては会員増となりありがとうございました。嬉しい限りです。

みんなで楽しめるにしクラブになっていたような気がします。今までクラブが立ち上がってから先の会長達が頑張って創ってくれたにしクラブを崩すことなく6月を向かえたことはメンバー皆さんのおかげだと思って感謝しています。各委員長には一年間お世話になりました。それぞれの役職もいなくては困る人たちはかりで本当にありがとうございました。一年間、他クラブとの交流も多く会長職を通じいろんな人と知り合いました。今後の課題としてもさまざまな場所で熊本にしワイズメンズクラブという名での交流は私の宝となること思います。

クラブの活動もファンダ活動から地域奉仕活動と通常の例会だけでなく行動する場もたくさんありますが、にしワイズメンバーのおかげで無事成功収めました。いろいろと活動を広め少しずつでもワイズメンズクラブとして地域に貢献してみなさんに覚えてもらううれしいですね。にしクラブはYMCA学院とともに活動もしてます、学院生と共に前進祭でのバザーも面白いですし、今年のオールYMCAデイではたくさんの人とも協同でのチャリティマラソン、サッカーなど楽しかった時間を思い出します。今年のにしクラブテーマとして足湯つくりをしようと考えましたが、残念ながら天候と時間が合わずに動けなかったのですがこれもまた、にしワイズメンバーだけでなくYMCA学院生やYサユースとの交流も含めまた阿蘇YMCAキャンプ場への奉仕を考えました。次期会長に提案し、引き継いでもらえるようになりましたので2年越しとなりますが楽しみましょう。

一年間お付き合って下さったメンバーの皆さん、委員長の皆さん、そして大御所亀浦ワイズ、岩本ワイズ、水元ワイズ、アドバイスからサポートまでお世話になりました。そして水元留美メネット会長にメネットの皆さん、にしワイズの大事な存在でしたありがとうございました。次期木本会長の頑張りにエールを送り、今後もにしクラブ活動を楽しみ盛り上げるようメンバーの皆さんお願いします。2015年度にしクラブ、今までの中で最高に楽しめた一年でした。

**熊本にしクラブ6代目会長
中西 賢一**



中西会長1年間ありがとうございました



**“Let's enjoy Y's Life”～ にして築く ワイズの力～
第6代会長 中西 賢一**

5月4日地域奉仕だご汁例会の感想

5月4日（月）にしワイズメンズクラブの皆様のご支援を頂き「地域奉仕活動 ‘だご汁会’in縁（えん）小島」と題し、老人ホーム縁（えん）小島にて地域交流会を実施させて頂きました。小島地区の自治会長をはじめ、子供会、老人会、自治会の方々や近くの障害者支援施設の方との交流ができました。そして、午後からはプロのソプラノ歌手による本格的なソプラノの歌声を聞かせて頂きとても充実した一日となりました。

このような交流は、施設ご利用者様にはとてもいい刺激となりました。後日、近所の障害者支援施設の施設長様・自治会長様や子供会会长様からも感謝のお言葉を頂きました。

今回のイベントをきっかけに定期的な地域奉仕活動へつなげていきたいと考えています。また、このような活動を行うことにより、ご高齢者への介護特に認知症ケアそして障害者の方々への支援への活動が活発になっていったらいいなと思っています。このようなことに、一人一人が日々意識することが結果、地域への奉仕活動になっていくのではないかと感じました。

皆様のご協力に感謝 感謝 でいっぱいでした。

神山 博行



青い目の人形交流の提唱者の孫ギューリック3世、来熊

1927年（昭和2年）の日米友情の人形交流運動の提唱者であり、熊本で宣教師として過ごされたシドニー・ギューリック一世の孫にあたる、メリーランド大学教授ギューリック三世ご夫妻を、熊本の地に迎えることになりました。

今回、岡山の日米協会が招聘され、ご夫妻の希望で熊本へいらっしゃることになりました。5月27日に来熊され、熊本市表敬訪問、YMCA訪問、黒川保育園訪問、熊本ワイズ例会参加などを予定しています。5月30日には、熊本から渋沢記念館でギューリック家と渋沢家とが対面も予定されています。日米をはじめ、世界の平和を祈ったこの人形交流活動の歴史を通して、縁の皆様方と、平和の尊さ、平和を創る大切さを学び、交わるひと時としたいと考えております。

※ 日米友好「青い目の人形交流」について

ギューリック一世は、1888年（明治21年）に宣教師として赴任され、8年間熊本の地にて布教にあたら、その後、同志社大学、京都帝国大学の講師を務められ、日本の歴史、文化、国民性、日々の暮らしに親密な理解と評価を示された方でした。

1900年代以降の米国での排日運動や排日法案が可決される中、同氏は帰米後、日米の友好、親善の気持ちを育むため、子どもたちの純真な心に期待し、国際親善の基盤作りのために、日米友情の人形「青い目の人形」交換を推進されました。

その孫、ギューリック三世は、1986年（昭和61年）横浜市の「人形の家」開館式に出席された際に、人形交換に係わる諸記録を見て、深く感動、日米親善に心を碎いた祖父の意思を継ぎ、2年後の1988年（昭和62年）に「新・青い目の人形」を携えて来熊されました。

その後、1997年（平成9年）7月に新たに青い目の人形を携え、来熊され、友好関係各団体、県・市内小学校を訪問、新しい人形を贈呈されました。また、2000年、2004年とプライベートな来熊したが、それらの人形とも対面され、また、新しく友好のしるしとして、人形を贈呈されました。

加藤泰文

九州部ネット事業活動報告

1. ネット国内プロジェクト 希少難病支援ネット事業 広報活動を行った。
・7月キックオフ例会を皮切りに、ネット事業を九州部各クラブのメン、ネットに知って頂く為、希少難病資料CDを各クラブに配布し勉強して頂くよう呼びかけた。
2. 熊本ジューンズクラブ・ひがしクラブネット例会・九州部役員会において希少難病資料CDをもとに、勉強会が開かれた。
3. 9月28日 九州部長 in 天草においてネットアワーや開催した。
・松本西日本区理事、西村ネット事業主任をはじめ、大阪、京都、鹿児島、熊本のネット43名の参加があった。
・西村ネット事業主任より、今期希少難病支援事業をメン、ネット共に西日本区をあげて支援の呼びかけ、支援金の使い道の説明をして頂いた。
・熊本のみなみクラブの杉野ワイス（小児科医師）により、卓話をして頂いた。介護、介助の大変さ、経済的支援問題などの現状を、自分達で声を発せない小数の弱い患者さんの代弁を医師達はしなければいけない、ワイスメン、ネットの皆様も何が出来るか考えて欲しいと呼びかけられた。



4. 11月6日 熊本地区合同ネット交流会をむさしクラブのホストで開催した。西村ネット事業主任、森ネット会計、鹿児島クラブの中松、園田ネット、熊本のメン、ネット約80名の参加があった。
・中岡氏より仲間をつくるつらい現状を乗り越え活動されている話を聴かせて頂き、胸を打たれた会となつた。



5. 2月28日「世界希少・難治性疾患の日」に合わせて、熊本難病・疾患団体協議会パネル展・署名活動にネット有志で参加した。

皆様のご支援で一年間主査を務めさせて頂き有難うございました。九州部16クラブを周り多くのメン・ネットと楽しい交流ができ感謝いたします。

各クラブのネット会の活動は、メンのサポートを中心に多種多様にわたり、クラブの個性が表れていて興味深く拝見させていただきました。また、キックオフ例会で2組のご夫婦の入会式に立ち会う事ができ、感激いたしました。今、阿蘇クラブのネット会の立ち上げに松村会長が奔走しておられます。是非、新しいネットさんが増え、ますます九州部の団結力とやさしさの“輪”が大きくなるよう、お手伝いしたいと思います。

九州部ネット主査 龜浦尚子

オールY M C Aデー

大盛況だった4月26日オールY M C Aデー！

体育館で行なわれた開会式。かわいい子どもたちのダンスや新体操の発表にワイスの関わりとしての若者の育成の一端を見、親目線でついぱろりと涙するところからはじまりました。

食バザーは、対象者と天気で売れ行きが左右されると聞いていたため、今年初めての試みに心配しておりましたが、やきそば、カレーの販売は、亀井さんのすてきな手書きポップとおいしさで飛びように完売しました。

ネットさんのバザーも開店前からお目当ての品をみつけておこしださるかたもいて大盛況でした。

バザーでの人のとの触れ合いがとても心地よく、コメットたちの参加も大歓迎で、楽しく参加できる行事ですので、また来年に向けて企画、参加したいと思います。

町田由美子



オールY M C Aデーに参加して

4月26日に行なわれたオールYMCADAY、天候にも恵まれとても有意義な時間を過ごさせていただきました。駅伝に出場ということで中西会長より「目標タイムを何分にすれば良いか」というご質問を大会前にいただき、フルマラソンを6時間完走するペースで計算してお伝えしました。ところが、タイムが遅すぎるということが競技中に発覚しました。本当に申し訳ありませんでした（笑）

駅伝やイベント全体を通して、YMCAの奉仕活動の内容を知り、実体験することができ、自分もこの一員にいられることを大変嬉しく思います。駅伝もバザーも無事終了し、サッカーを見学しながら加藤さんとお話をさせていただきましたが、「今の子どもたちはサッカーは上手だけど、球際の強さがあまり感じられない」とことで、サッカーを通して現代の子どもの特性を掴むこともできるんだなあと感じました。イベントを通して、様々なことに気がつき、日々の生活の中で意識することが変化していくことができるようになる。そんなイベントの意味合いも知ることができた貴重な体験でした。

宮村陶太



メネットコーナー

1年間を振り返って

今月で6代目メネット会長の役目も最後となりました。

今期は九州部長を亀浦メン、メネット主査を亀浦メネットが務められたので、九州部会という大きな行事をにしきラブが担当し、いろいろ大変でしたが、メネット会長としては亀浦メネットがいつも指示してくださるおかげで、大変やりやすい1年でした。

西日本区のメネット事業「希少難病支援プロジェクト」も糸余曲折がありましたが、皆さんの温かいお志により、当初の目的を達成することが出来たのではないかと思います。

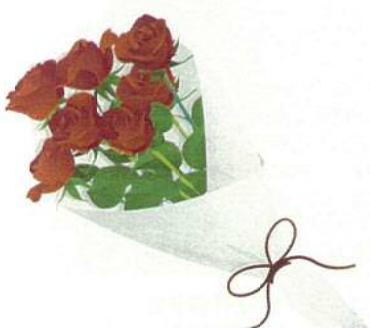
その他の活動では、屋外での行事が多かったため天候に振り回され少々疲れましたが、中西会長をはじめ多くのメン、メネットのご協力のおかげで無事終えることができました。菊池養生園祭でのバザーは現地集合と同時に雨脚が強くなつたため、その場で解散となり残念でしたが、その品物をオールYMCAデーの会場に持つて行き、メンの皆さんのがカレーライス、焼きそばを出店されている隣で、メネットは古着、日用品等の物品バザーを開くことが出来ました。養生園祭と比べまだ認知度が低いためか、売り上げは少な目の12,150円でした。

また、今期は新しいメネットさんの参加が少しずつ増えて大変嬉しく思いました。今後もメネット会の活動にも多くの方が参加してくださいますようお願いいたします。

次期メネット会長は若い木本メネットです。ベテラン・中堅・新人メネットがみんなで支えていきましょう！

この1年間、皆様のご協力のおかげでどうにか役を務めることができました。心からお礼申し上げます。有難うございました。

メネット会長 水元 留美



水元メネット会長1年間ありがとうございました



理事通信

主題：「響き合い、ともに歩む」
 Walk Together, Echoing Each Other



西日本区理事
松本 武彦

今期は、ファンド事業を交流事業に合体させるとともに、広報事業を継続性のある委員会制度とした「5事業1委員会制度」に基づき事業活動を進めてゆくスタートの年でありました。交流事業とファンド事業を合体した国際・交流事業については、これまでの2つの事業活動を生かしながら活動を展開してゆけることが確認できました。ただ、「国際」なる名称をもつことで、国際にからむ諸事項への対応については今後、組織的対応を含めて考慮してゆくことが必要かと感じています。理事通信3月号でお知らせしました国際新事業「STEP For All」はTOF事業の支援・理解を意図しての事業であることから、今後はTOF事業を管轄する地域奉仕・環境事業部門が担当することになりました。

会員増強に向けて立ち上げられた西日本区2000推進チームは、実質8年間に及ぶ働きを各部ごとの会員増強組織に委ねるため、今期をもってその活動を閉じます。これまでお働き下さったチームのみなさまのお働きに感謝します。理事G O A Lを目指とする献金は、東日本大震災被災支援に向けての献金の額が少し低いほかはほぼ例年並みであります。現在、Y M C A 東山荘100年募金とネパール大地震被災支援募金にかかるY M C Aからの呼び掛けにお応え下さるよう、西日本区のみなさまにお願いしています。

今期の事業活動におけるトピックスとして、①各クラブから提出して頂いたYSA事業報告からクラブのみなさまがY M C Aサポートを大いに楽しんでいることが確認できたこと、②各クラブで実践する地域奉仕活動を他クラブも応援し共有するために部単位で各クラブの活動状況を報告する場を設けてクラブ相互の情報共有を図るようにしたこと、③今期から始まる部ごとの会員増強推進チームの動きについてみれば、初年度ということもあってか、活動されている部と思うような活動ができるていない部があること、④台湾区と東日本区にそれぞれ所属するクラブ同士のI B C 締結ではあるが、この締結実現のために西日本区に所属するクラブの働きが大きく貢献したこと、⑤ネット事業について多くのメンにもご理解頂きネットとともにお支え頂いたこの1年ではありますが、活動下さるネットの数の減少と高齢化などの実態を考えると、ネット事業のあり方について考えるべき時期がきているのではないかと思われること、などが挙げられます。

日本ワイズメンズ運動発祥の地、「大阪」で、いま、ワイズメン・ネットが交わり、響き合い、楽しむことで、ここを新たにしてワイズメンズ運動を開拓するきっかけを作りたい、というのが今回の第18回西日本区大会開催への私の思いであります。みなさま、大阪ペイエリアで“交・響・樂”を奏で、私たちの力をワイズメンズ運動の明日につなげましょう。

ともあれ、みなさまからのこの一年間の温かなご支援・ご協力にこころから御礼申し上げます。ありがとうございました。



6月の強調月間 評価・計画

『今年度の活動目標がどこまで達成できたかを振り返り、達成と未達成の原因を探り、この振り返りの成果を次年度の活動に活かそう。』

この一年の活動を、成功のみでなく失敗も含めて丁寧に振り返り、新しい年の計画立てに生かすようにしましょう。

西日本区理事 松本武彦(大阪西クラブ)

熊本YMCA学院通信



梅雨の時期を前にして連日の暑いが続く今日この頃ですが、熊本YMCA学院 本年度第1号となります就職内定をいただきました。国際ホテル科の学生で、株式会社ニュー・オータニへの内定をいただきました。本人の努力と本人を支えていただいたご家族、関係の方々に感謝致します。商業系の2年生も、多数の学生がそれぞれ希望の企業にエントリーをしながら、2次、3次と試験結果を待っている状態です。専門学校での2年間は、大学での生活と異なり、短期決戦です。1年生に入って、前半は企業実習に行けるように、専門知識・技能の基礎を身につけ、対人スキルを高め、マナーなどを習得しながら、後半より企業実習に向かい、同時に様々な検定を取得にチャレンジしていきます。1年次後半より希望職種を見定めながら、履歴書の作成や面接の練習、2年次には、個人差はありますが、早い学生でこのように5月に内定をいただくことになります。福祉系の就職活動は夏期休業以降から本格化していきます。「素直に取り組む姿勢」「自己理解と他者評価の乖離が少ない」「言動や行動の安定」「壁に立ち向かっていく姿勢」「保護者の理解」等、意欲的な取り組みや姿勢や周りの理解が就職活動のポイントとも言えます。私たちは、学生の就職の希望が叶うように、モチベーションを高めながら、一人ひとりの学生のタイミングに応じた支援を行なながら、専門教育、キャリア教育、人間教育を行っています。

連絡主事 加藤泰文 ワイズ

内定者の声

文部省高等学校
国際ホテル科

施設名: 施設名: 滝谷 淑さん

学年: 2年生 学校: 文德高等学校

内定先: (株)ニュー・オータニ

なぜYMCA学院を選びましたか?

私は、ホテルマンになりたいという夢があり、県内でホテル科がある学校を探していました。オープンキャンパスに参加して、有名なホテルに実習や就職できることを知り、熊本YMCA学院に入学して、夢を叶えたいと思いました。

どんな就職支援がありましたか?

私が内定をいただけたのは、就職課の先生方や担任の先生から志望動機・自己PRの添削や、面接練習(英語での面接試験対応のため)などのサポートがあったからです。先生方のサポートのおかげで試験へ対する不安を解消することができました。

Let's Go!

オープンキャンパスへ行ってみよう!

迷っている方、熊本YMCA学院が少しでも気になっている方は、ぜひオープンキャンパスに参加してみてください。体験授業や施設見学、先輩の話をなどを通じて学校の雰囲気も良く分かること思います。「一人では不安…」といつもお友達と一緒に気軽に参加してみてください。

6月の予定

1日 (月) 職員礼拝

3日 (水) 熊本にしワイズメンズクラブ例会

13日 (土) ワイズメンズクラブ西日本区大会 (～14日)

14日 (日) オープンキャンパス③
(上通りYMCAにて)

17日 (水) ワールドキャンパス
熊本にしワイズメンズクラブ企画例会

19日 (金) 高校対象学校説明会

23日 (火) 専門学校運営委員会

24日 (水) 職員会議

25日 (木) 禁煙教育講演会

*6月22日～7月10日 学校訪問

編集後記

プリテン作成を仰せつかったあの日から早くも1年間が過ぎ去り、今月で任期満了となりました。右も左もわからない状態のまま、編集作業をして参りました。読みづらさ、誤字・脱字等行き届かないところも多々あるままの任期満了となってしまったことを残念に思いますが、経験して気づいた改善点は次期プリテン委員長の方へと引き継がせていただきます。

1年間記事の原稿作成にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。深く深く海より深く御礼申し上げます。皆様にご協力いただいております原稿あってのプリテンです。今後ともご協力の程宜しくお願い致します！！



"Let's enjoy Y's Life"

